

## みんなでやること・続けることで、どんどん力がついてくる 中根小学校

水曜の朝の15分間は、「計算チャレンジタイム」の時間です。校長先生をはじめ担任でない先生方も全員赤ペンを持って教室に入ります。担任の先生と一緒に、計算ドリルの丸つけをします。「先生、わかりません。」「0.1を1つずつ増やしながら考えてごらん。」「そうか、わかった!」…  
わかる喜びは、学ぶ楽しさにつながります。学ぶ楽しさが「夢のある楽しい学校」をつくりまします。



玄関を彩る草花

ひたちなか市立中根小学校（久野勝敬校長）は、平成21・22年度の2年間、研究主題「わかる喜び、学ぶ楽しさを味わえる算数科学習の指導の在り方」を定めて、児童一人一人の意欲を高め、わかる喜びと学ぶ楽しさを味わえる学習指導の在り方を研究しています。

これまでの研究から、児童の課題をつかみ、その解決策を工夫しても、全先生が同じように実践（共通実践）しないと、十分な成果が得られないという反省がありました。本研究では、課題解決策を共通実践するように努めることで、着実に成果が上がっています。…



校内研修：プレ授業の検証と板書構成の確認

校内研修では、先生方が本音で話し合っています。先生方の中に、いい刺激を与え合う関係ができていくからです。議論が伯仲した後でも、職員室に戻ると、一緒にお茶を飲みながら談笑する姿が見られます。このような雰囲気が、校内研修を充実させ、授業力の向上につながっています。

5月初旬、久野校長先生は、先生方を児童に見立てて算数の模擬授業を行いました。「良いお手本にはなれませんでした。」と謙遜されますが、先生方のやる気に火を付けたことは間違いありません。

そして、担任以外の先生も丸つけに加わる「計算チャレンジタイム」が、共通実践の大切さを先生方に強く意識させることとなりました。先生方がみんなで児童に関わることで（共通実践することで）、基礎学力の定着や学習意欲の高まりなど児童に良い変化が見られたからです。…

久野校長先生は、「学習も生徒指導も、全校体制でやっています。みんなでやろうと決めたら、みんながやってくれること、こうしようと決めたら、決めたことが先生を通して、子どもにちゃんとおること（心にとどく指導）が大切です。これが学校の総合力となります。それを続けることで子どもに力がついてきます。」と話されました。

### 【研究の主な成果】

- ① 課題提示の工夫などめあての明確化を図ることで、意欲的に取り組み、算数が好きと答える児童が大幅に増えている。
- ② T・T指導や少人数指導により、基礎基本の定着が図られ、全体的な底上げができています。
- ③ 朝のチャレンジタイムで、基礎学力の定着が図られ算数の学習意欲が高まっている。
- ④ 形式を定めてノートを書くよう指導することで、自分の考えを必ず書くことが習慣化されている。
- ⑤ 「家庭学習の手引」の配付、「家庭学習の記録」の提出と確認、家庭学習で宿題以外に何をやるかを指導するなど取り組み、85%の児童が目標以上に時間をかけて家庭学習に取り組んでいる。



第3学年算数「割り算」：グループの考えを発表